

市民の財産である新庁舎の有効活用推進を



■皆) 将来人口推計では、2050年世帯主が65歳以上の単独世帯が約1万。「おひとりさま」の増加で終活支援は重要な一つ。国のモデル事業で横須賀市の①エンディング・サポート事業②終活情報登録制度の検討状況は？
答) ACP（人生会議）、意思決定支援の確保、遺言書の書き方、死後の事務支援等を学ぶ機会を持った。モデル事業を取組の参考にしていく。
■皆) 「女性支援法」施行一年の現状と課題は？
答) 男女平等推進行動計画に位置付け、事業内容については各所管課で作成し計画の実効性を持たせていく。相談内容に応じて関係各所と連携して支援に取り組む。
皆) 広域的な自治体連携、

相談員への支援等の課題にも目を向けよ。
■皆) ジェンダー平等、職員等への研修は？
答) 表現のガイドライン、アンコンシャスバイアス等ジェンダー視点での研修実施。庁内、市民、事業者等にも周知、意識を持つよう取組む。
■皆) 自殺対策、以前提案した「自治体連携事業」のその後の検討状況は？
答) 庁内での検討を進めている。事業者とも打ち合わせを行った。比較的ハードルの低いSNSを相談に活用できる実践的な事業と考えているので、課題解決に努めている。
皆) Web空間の居場所、「かくれてしまえばいいのです」タブレットで活用図例。
教育長) どのように活用できるか研究していく。

立憲・市民フォーラム
皆川 りうこ



■皆) 庁舎一階の多目的スペースとぶんぶん広場の一体的活用等市民が使えるスペースの情報提供を。
答) ルール化は行わない。市民はイベント等を所管する担当部署へ直接問い合わせして欲しい。来庁者の動線が北側に偏重している状況で南側の利用や周知を含めて検討していく。
■皆) H21に改修した福祉センターの入浴施設は使用されず約1,300万円は税金の無駄だった。今後、施設マネジメントをしっかりと行うように。
答) 福祉センターの長寿命化に向け耐用年数の調査を実施し利活用の検討をしていく。

難聴・言語障害通級指導学級の設置を早急に



表3のように多摩26市で設置していないのは国分寺、羽村、狛江のみ。「すべての人を大切にするまち」宣言をしている国分寺市がとても遅れている。
(問) 設置に向けた検討を。
教育長) 研究課題の一つ。
(問) 3年前に難聴通級について研究課題の一つと答弁されているが、何一つ進んでいない。
教育長) 言語障害の通級指導学級のニーズは教育相談室や各学校からは全く出ていない。
中山) にわかに信じられない。市民からは「指導学級がないから声が上がらないのではないか」ということも言われている。
また、表1のように言語障がい通級のニーズも

難聴通級のニーズもある事は明らかで、国分寺だけがニーズがない、なんてことはあり得ない。「隣接市の通級を利用している」というが、表2のようにその利用は極端に少ない。国分寺では、必要な子ども、本来受けるべき子どもが通級指導を受けることができない状況にある。
近隣の専門クリニックで勤務されている言語聴覚士の方は「国分寺市民が訓練を受けるために探しに探してようやくたどり着いて来院されている」とお聞きした。
早急に、市内に難聴・言語障がい通級指導学級を設置するよう求める。
その他、「熊野神社そばの踏切安全対策」「物価高騰対策」「小一の壁問題」などを質問

無会派(日本共産党
国分寺市議団)
中山 こう



表1 隣接市における難聴・言語障がい通級指導学級の利用者数

(2024年5月1日)	立川市	府中市	小金井市	小平市	国立市
難聴	8	7	8	8	3
言語障がい	95	103	33	72	60

表2 国分寺市民が利用している隣接市の難聴・言語障がい通級の状況

	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
児童	0	0	0	2	3
生徒	0	0	0	0	0

表3 多摩26市における通級指導学級の設置自治体

	設置自治体数
難聴	16
言語障がい	23

子育て環境、安心の介護、道路空洞化対策等



子どもの居場所拡充を(小1の壁問題等)
木島) 下校後に直接、放課後子どもプランに行ける1小・8小のプラン室と同等の対応を求める声を他校保護者の方からいただく。検討を。
市) ニーズの把握に努めていきたい。
木島) 親が朝早く出勤する家庭の子どものため学校校庭等を活用した「朝の子どもの居場所」確保に向け、先進事例参考に導入検討すべき。
市) 登校時の見守りや学校施設内の安全管理の課題がある。今後の動向を注視し検討したい。
安心の介護サービスの環境を
木島) 地域包括支援センターへの人材確保などさらなる支援が必要と考えるが。

市) 業務負担軽減に向け、ケアマネジメント等を担う人材確保し運営体制強化を進めている。
木島) ビジネスケアラーなど家族介護者への寄った支援や手続き等のデジタル化の検討を。
市) 相談しやすい体制整備等、進めていく。
安心の住宅確保へのサポート体制を
木島) 住宅の確保に困難を抱えられている世帯(低所得者、高齢者、障害者など)をより積極的に支えるために居住支援協議会の設置を。
市) 現状、関係団体等と意見交換は行っている。今後も継続するが、検討していきたい。
道路の空洞化対策を進めよ
木島) 市民からも問い合わせをいただく。

公明党
木島 たかし



当市の調査はいつ頃どのように実施したのか。
市) 平成26年～27年に、幹線道路やぶんバス路線、スクールゾーン等を調査。3箇所の空洞を確認したが、必要な工事を行い対応済である。
木島) 前回の空洞化確認の調査から約10年が経過していることから、再調査を検討すべきでは。
市) 路面下の状況も変化していることも考えられるため、調査を検討する時期と考えている。
この他に、本多児童館の老朽化対策と本多周辺地域のまちづくりを求めました。市も課題を認識し、今後検討を進める見解が示されました。

新府中街道・国分寺陸橋高架下の活用を



トイレトレーラーの導入検討を急ぐべき
だて) 能登地震などでも活用されたトイレトレーラーだが、近隣市の導入状況はどうか。
市) 1市で導入、6市で検討が進んでいる。
だて) 昨年質問時には1市だったが、多くの市がその有用性を認めたということ。他県からのトレーラー派遣を期待できるというメリットが希薄になる前に当市でも検討を急ぐべきである。
市) 今回導入する近隣市に効果等を確認する。
新府中街道・国分寺陸橋高架下の活用を！
だて) 市役所通りまで開通した新府中街道だが、国分寺陸橋高架下の活用はその後どうなったか。
市) 改めて東京都に確認をしたが、当面の間、

工事用資材置き場として活用していくとのこと。
だて) 以前と変わらない回答だが、その「当面の間」というのはいつまでか。数年後に工事が終わったら活用させてもらえるのか。
市) 工事後も都が使用していく方向とのこと。
だて) ボール遊びやドッグランなど、様々な活用が考えられる場所である。市として正式な形で提案・要請を行い、部分的にでも使用させて頂けるよう協議をしてもらいたい。
また、道路や歩道の広い、この新府中街道でイベントやリレーマラソンなどを行う事で沿道地域の活性化につながると思うがいかがか。
市) 都や警察との調整も必要。研究していく。

立憲・市民フォーラム
だて 淳一郎



カスタマーハラスメント対策について
だて) 4月から東京都カスタマーハラスメント防止条例が施行され、その定義や事例、責務などが示された。市としての対応を伺う。
市) その重要性を認識し、市としても基本方針を策定・公表することで毅然と対応していく。
だて) 正当なクレームと過度な要求、迷惑行為の線引きの一助となる条例である。市役所をはじめとして市内の事業者にも周知啓発を求める。
市) 関係団体と連携し、啓発に努める。
その他質問 シティプロモーションについて